



2016年12月01日発行

2016年12月号(通算195号)

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102
TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

【2016～2017主題】

国際会長 Joan Wilson
 アジア地域会長 Tung Ming Hsiao
 東日本区理事 利根川 恵子
 あずさ部長 浅羽 俊一郎
 東京武蔵野多摩会長 山口 直樹

「Our Future begins Today」
 「Respect Y's Movement」
 「For the Future, Act Today!」
 「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ!」
 「一步一步前に進もう。Yと共に!」

【クラブ役員】

会長 山口直樹
 副会長 板村哲也
 副会長 伊佐節子
 会計 宮内友弥
 書記 渡辺大輔

2016年
今月の聖句

すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。
あなたがたを休ませてあげよう。(マタイによる福音書11章28節)

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

五つの誓い

- 1.自分を愛するように隣人を愛そう
- 1.青少年のためにYMCAに尽くそう
- 1.世界的視野をもって国際親善を図ろう
- 1.義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
- 1.会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

- 1.個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する。
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する。
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する。
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員を啓発し、積極的に参加させる。
5. 健全な交友関係を作り出す。
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

12月例会プログラム

強調月間：EMC-E、YES
 日時：12月4日(日) 13:30～
 場所：東京YMCA医療福祉専門学校
 ※開催場所、開始時間が通常と異なります
 ご注意ください
 12月第一例会は
 「西東京ファミリークリスマス」です。

11月例会報告

在籍者	13名
出席者	11名
メーキャップ	1名
出席率	92%
ゲスト	0名
ビジター	3名
ネット・コメント	1名
にこにこ	9,281円

びっくり!! トランプ氏当選

伊佐 節子

アメリカ大統領にトランプ氏当選のニュースに「本当?」とびっくりした。

公然と言いたい放題。アメリカ第一主義、差別発言、女性蔑視と公然と選挙演説の中での発言に、大国アメリカの紳士の言うこと?とびっくりするやらあきれ果てるやらであった。

共和党は、もっとましな人を推薦出来なかったのかと落胆すると同時に選挙の恐ろしさで不安を感じた。

選挙前から不人気同士の候補と報じられていた。

ヒラリークリントンは当選していれば初の女性大統領、弁護士、元大統領夫人と肩書きは申し分ないと思えたが、庶民感覚から受け入れられない。上流階級への反発と政治不信が強く作用したのだろうか。

思っても言えない本音をズバリと発言するトランプ氏に共感した人が、この人こそ我らの代弁者と暴言を支持したことになる。本音とたてまえの予想が大きく外れた大統領選挙だったと思う。

自己中の本音がまかり通れば、世界の平和はない。いたるところで紛争・戦争が起きる。

日本でもトランプ氏の発言に気をよくして暴言を吐く政治家が増えないようにと思った。

[強調月間コーナー]

12月 EMC-MC

EMC-MC

11月のEMC-Eに続き今月はEMC-MCです。MCとは、Membership & Conservationつまり、会員増強と維持啓発のことを指します。会員増強はワイズの永遠の課題であり、クラブを維持するも発展させるも、一に会員増強にかかっています。新入会員を誘うには、自分のクラブライフが楽しくなければ誘えません。常に会員意識の高揚と啓発に努め、充実した楽しいクラブライフと奉仕活動を心がけねばなりません。

今年度の東日本区のMCの目標は各クラブ純増2名以上、退会者ゼロで区として会員数1,000名突破を目指しています。

クリスマスに何を思いますか？

江夏 一彰

教会の暦では、今年は11月27日から新しい年となり、いよいよクリスマスを迎える準備の期間へと入ってまいりました。聖書にはクリスマスが12月25日と明記されている箇所はどこにも見当たりません。このクリスマスは、英語ではChristmasと表記されChrist（キリスト）+mas（ミサ）からなっており、キリストのミサという意味になります。

では、いつ位から12月25日にクリスマスのお祝いをするようになったのでしょうか。古代教会では、4世紀から降誕を祝う祭日が生まれています。ローマでは、当時さかんだった太陽神崇拝のミトラス教がローマ暦で冬至にあたる12月25日を不滅の太陽神の誕生日としていましたが、教会ではキリストこそ真の正義の太陽であるとの考えから、この日を降誕の日として祝うようになりました。また、暦の種類が異なることから東方教会（日本では駿河台にあるニコライ堂が有名ですね）では、クリスマスは1月7日（東方教会ではユリウス暦を使用しているため、13日のずれが生じます）となります。

日本ではクリスマスよりもクリスマスイブである12月24日の夜から大騒ぎとなりますが、根拠があるのでしょうか？ 実は、これも暦の問題なのですが、ユダヤ暦では1日は日没から日没までとなっていますので、12月25日の1日の始まりは、12月24日の日没からとなりますので、クリスマスはここから始まるということになるのです。因みに、イブは「evening（夜、晩）」と同義の古語「even」の語末音が消失したものです。

クリスマスはイエス・キリストがこの世に生まれたことをお祝いする日です。神様はご自身が大切にしているものを、私たちに与えて下さった日といっても良いでしょう。そして、その方が世の中の光となって私たちと共に歩んでくださっていることを覚えないものです。どうか、このクリスマスを通して光を分け合う働きが、そして光を待っている人たちが照らされることを祈らずにはられません。

2016年11月例会報告

「ワイズの在り方を考える（議事進行：板村）」

日時 11月 9日 19時～

会場 東京YMCA西東京コミュニティーセンター

司会：山本 受付：宮内、渡辺 ドライバー：野尻

東京武蔵野多摩クラブ11月例会では、ゲストスピーカーを招かず、板村、大輪、渡辺の3名が事務局となり、事前にメンバー全員に「現在のクラブ内での問題点」、「ワイズメンズクラブ全体での問題点」をテーマにアンケートを実施し、今後のクラブ、ワイズメンズクラブ全体、ひいてはワイズメンズクラブの存続をかけて「今、何かできないか？」を考える会を持ちました。

組織について、クラブについて、テーマは非常に広範囲で大小合わせて約200項目の問題点がありました。今後、これらの問題点の解決へ向けての話し合いを進めるための第1回目の話し合いとなりました。特に最近入ったメンバー（麻生、板村、大輪）の新鮮な思いは、前からいるメンバーにはとても新鮮だったようです。

途中ビジターで参加されていた山田公平さんより、「近年欧米のYMCAは全米内でも上位のNGOとして存在していて、その理由は昔からの活動からいち早く脱皮し新しい運動体としてのYMCAの地位を築き、それに反比例するようにワイズが弱体化していった。」とアメリカでのYMCA、ワイズの状況の紹介がありました。

「まず、クラブ内からできることはなにか？」をキーワードに、クラブの目的、YMCAとクラブとの関わり方、クラブとしてのキリスト教との関わり方、会報誌（ブリテン）の取り扱い等に関して、第2回話し合いを12月21日の臨時第2例会にて行なうこととなりました。（準備会は19日）今後、クラブ内で話し合った内容を部や区にどのようにして報告・相談していくかも懸案事項となりました。こう言った動きが東京武蔵野多摩クラブ内だけでなく、いろいろなクラブへ波及し、我々のクラブがモデルケースとなれるよう取り組み、ワイズの現状の問題を打破できる様に進んでいければいいのではないかと考えた意見もありました。

今後、若い人たちに向けて社会問題に対してYMCA、ワイズとしてどう向き合い、どうとらえていくか。まずは何ができるのか？何をしないといけないか。どう具体化していくのか、今やらなければいけないことは何なのか、他の団体ではできない我々らしい活動をもう一度原点に立ち返って全員で考えていく事が大切だなと感じた1日でした。

第20回あずさ部部会に参加して

山口直樹

10月22日に水道橋駅のそばの在日本韓国YMCAアジア青少年センターにて、第20回あずさ部部会が、約70名の参加者を得て開催された。

部会を通して感じられたのは、浅羽部長が発散する「あさばイズム」であった。一人一人がもれなく持っている賜物に気付いて、光らせようとの心遣いが随所に感じられた。

第2部では恵泉女学園大学名誉教授の蓮見先生の講演。佳境に入っているアメリカ大統領選挙の分析をおはなしいた。どちらが大統領になるにせよ両候補の主張が今後もアメリカの政策に色濃く出てくる可能性があり、気を付けて見守っていく必要がある。また、我々日本人が世界観をしっかりと持っていく必要があることなど様々示唆に富む話を聞く機会を持てた。

この原稿がブリテンに載る前に選挙が行われ、トランプ氏が次期大統領になった。驚きと共に、蓮見先生のお話を改めて思い出しているところである。いま世界では何が起きているのか、日本ではどうなのか、そしてワイズとYMCAに求められているものは何かを、改めて考えさせられている。

第3部では和気あいあいとした会食懇談会。浅羽部長が望まれていた、即席合唱隊による素晴らしい歌声も響き、相変わらずの仲の良いあずさ部を実感した。このつながりがいつも我々を励ましてくれている。武蔵野多摩の参加者は、伊佐、宮内、山口の3名でした。

十勝クラブ訪問

石丸 由理

11月5日(土)、帯広YMCAで開催の「親子リトミック」「こどものリトミック」「指導者向け講習会」では、周辺の子どもや保護者60名余りの方が参加。今回で3年目になる研修会ですが、札幌からの参加者も含め、熱心な受講生の皆様と楽しく過ごさせて頂きました。十勝ワイズメンズクラブの山田会長をはじめとして、池田様、中村様、渡辺様そしてYMCAの皆様、3日間にわたり大変お世話になりました。新しくお目にかかった興味深い魅力のある方々、昔一緒に番組でお仕事させて頂いた方、と色々な方に巡り合い、本当に楽しく過ごさせて頂き有難うございました。

11月17日は、横浜つづきメン&ウイメンズクラブの方に同行させて頂き、宮城県山元町の被災地支援プログラムに参加させて頂きました。山元町立みなみ保育所には2013年より、こどもたちとのリトミックをさせて頂いておりますが、この8月、保育所が統合し、新たにつばめの杜保育所としてスタートしたばかりの新園舎に伺いました。今まで仮住まいの狭い所で過ごしていたこどもたちは、真新しい園舎に移り、沢山のお友達とも一緒に新生活がスタートしてしまし

た。コの字型の窓の大きな園舎には、149名の0～5歳児が通っていて、多くの企業からの援助の詰まった素晴らしい環境で、本当によかったな～と心から思いました。こどもセンター、小学校、中学校も隣接していて、すぐ横の大きな中央公園では、こどもたちが真新しい遊具で、夕方遅くまで遊んでいました。

周りは新しい家が建ち始め、大きなショッピングセンターも出来て、12月には常磐線も復興の予定の様子。新しい町が育ち動き始めている様子が伺えて、ワクワクした気持ちで帰宅しました。その直後の地震のニュース、心を痛めています。



I Y C 報告会

渡辺 大輔

この夏、台湾で行われたインターナショナルユースコンボケーション (I Y C) の参加者による報告会が11月26日に東日本区事務所にて行われました。報告会には東日本区から参加の6名(内海、小林、佐宗、末永、須郷、永坂)と、西日本区から参加の1名(吉村)と、カメルーンから参加の1名(ピエール)と、ワイズからの12名、オブザーバー1名が集まりました。

現地では、短い期間でしたが非常に充実したプログラムで、いろいろな人との関わりがあり、8月7日のデボーションでは、アジアエリアの代表として広島について考える場を持ったそうです。各自、印象に残った写真数枚を使って「I Y Cで得たもの」「今後の自分の活動に加えられること」「今後の参加者に望むこと」をテーマに報告会は進み、アジアエリアのユースとして環境問題について話し合い、「ゴミ拾い」をするというアクションプランを立て、各自の活動をA Y R (アジアユース代表)まで報告するということになったそうです。

来年3月には今回のアクションプランのフォローアップ、アジア大会のオリエンテーションを予定しており、特にオリエンテーションなど過去の参加者が積極的に関わっていただけたらと願っております。



§その他、会員の委員会等出席情報

- 11月 5日：第二回区役員会 (宮内)
- 15日：3クラブ (山手、サンライズ、たんぽぽ) 合同例会 (麻生、大輪、宮内、山口、渡辺)
- 22日：区大会打ち合わせ (宮内、山口、渡辺)
- 25日：文献・組織検討委員会 (宮内)
- 26日：メネットの集い (宮内)
- I Y C 報告会・ユース事業委員会 (宮内、渡辺)

<西東京YMCA便り>

出沼一弥

▼11月の西東京センタープログラム報告

11/3	ぺたぺたの会	西国分寺周辺	18名
	会員の集い		26名
11/6	「Smile(小学生プログラム)」	東京都立野川公園	6名
11/12-13	「あおぞら・つばさの会」1泊会	千葉県君津(東京ドイツ村)	10名
11/13	「にこにこ」11月例会	狭山公園	16名
	「ロビンソン」11月例会	所沢航空記念公園	21名
11/20	「シャベルズ・いずみの会」11月例会	昭和記念公園	17名
11/23	「TeenS」11月例会	横浜南フィールドアーチェリーコース	6名
11/30	「Smile(中高生プログラム)」11月例会	川越周辺	10名

▼12月の主な予定

西東京センター

12/4	ファミリークリスマス 幼児野外活動「にこにこ」12月例会 小学生野外活動「ロビンソン」12月例会		
12/10	0422クリスマス会		
12/26-30	シュプールユーススキーキャンプ	対象:小学生～高校生	引率:廣瀬
	ユーススキーキャンプ	対象:中学生・高校生	引率:出沼
12/27-30	キッズスキーキャンプ	対象:年中～小学生	引率:中里

* 西東京センター冬季休暇12/22(木)～1/3(火)

▼活動紹介

西東京コミュニティーセンターで行っている「定例プログラム」について紹介をしていきます。今号は知的障がい児・者 余暇活動「あおぞら・つばさの会」についてです。

「あおぞら・つばさの会」 あおぞら・つばさの会ディレクター中里敦

知的障がい児・者を対象とした余暇活動で、1979年の武蔵野YMCA時代に発足し、その後西東京センターが引き継いでいる40年近い歴史のある活動です。現在は、高校生から44歳までが在籍しています。

活動は公園で体を動かしたり、街に出かけてショッピングや食べ歩き、ハンバーガーやバーベキューなどのクッキングを行い、年に2回春と秋には一泊会に出かけたり、夏には3泊4日の山中湖キャンプも行っています。

余暇活動として参加者がその日一日楽しめることを大切に、私たちが日常の生活、仕事とは別に余暇を楽しんでいるように、メンバーも日常とはかけ離れた時間が必要であり、そのことが、日常の生活や仕事をより豊かにしていけると考えています。また、日ごろ支えている家族にとってもYMCAという信頼できる場所に預けることで、ゆっくりとした時間を過ごし日常の生活につなげてほしいと願っています。保護者の高齢化やメンバーの社会に触れる機会が減っていく中、YMCAの必要性も問われています。

この活動に重要なのはリーダーです。指導者ではなく共に楽しみ寄り添う存在であります。まずは、障がいの有無ではなく、同じ人として受け止め受け入れてもらうことが大切です。そして、言葉や行動を理解することが困難な場合が多くあります。

その中で隣り人となるリーダーが一人ひとりに寄り添いつつ充実した時間となるよう考え行動することが求められます。メンバー個々の尊厳を守り、向き合い、悩み考えることが、寄り添うことであり、関係を深めていくこととなります。そして、メンバーも安心して楽しめる場となっていきます。

12～1月、その他の予定

12月	1月
4日(日) ファミリークリスマス (第一例会:医療福祉専門学校13:30～)	7日(土) 在京ワイク 新年会(第一例会) (山手センター:12:30～15:30)
17日(土) 忘年例会(日本橋:17:00～)	25日(水) 第二例会(18:30～)
19日(月) 第二例会準備会	
21日(水) 臨時第二例会	2月
	4～5日 第二回東西日本区交流会
	8日(水) 第一例会(19:00～)
	22日(水) 第二例会(18:30～)